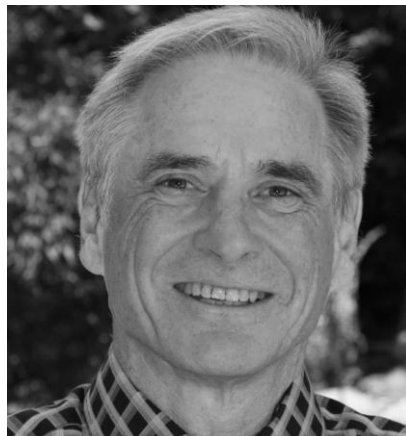


O'Farrell 教授特別講演会



- 日 時 平成 26 年 10 月 23 日 (木) 17:00-18:00
- 場 所 横浜市立大学福浦 (医学部) キャンパス
先端医科学研究センター 5 階会議室 (P503)
- 演 題 Timing and how the cell cycle and development are coordinated in the early embryo (英語講演)
- 演 者 P. H. O'Farrell 教授 (米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校)

O'Farrell 教授は、米国 Boulder Colorado での学生時代にタンパク質の二次元電気泳動法を開発しました。その方法を 1974 年に学位論文として発表しています。また、翌年、その成果を Journal of Biological Chemistry に公表しました。これが、現在でも広く使われている「O'Farrell の二次元電気泳動法」です。この方法は、一次元目にタンパク質変性条件下の等電点電気泳動、二次元目に SDS ゲル電気泳動を最初に採用した二次元電気泳動法で、1 回の分析で極めて多数のタンパク質の分離を可能にしました。O'Farrell 教授は、二次元電気泳動法開発後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校に博士研究員として移り、1979 年に同校に研究室を立ち上げました。1979 年以降は、胚形成の分子レベルでの研究のパイオニアとなりました。これまでに発表した論文は 110 報以上にのぼります。先端医科学研究センターでは、胚の発生・分化に関する最近の研究成果について紹介していただきます。多くの方のご参加をお願いいたします。

O'Farrell 教授研究室のホームページ <http://biochemistry.ucsf.edu/labs/ofarrell/>

Farrell JA, O'Farrell PH. From Egg to Gastrula: How the Cell Cycle Is Remodeled During the Drosophila Mid-Blastula Transition. Annu Rev Genet. 2014 Sep 5.
[Epub ahead of print]

担当 先端医科学研究センター 平野 久 (内線 2323)
先端医科学研究課 石井 045-787-2536 (内線 2536)
kyoten1@yokohama-cu.ac.jp